

公的保険アドバイザー協会

ねんきん定期便チェックシート開発

民間保険のニーズ喚起に

一般社団法人公的保険アドバイザー協会(東京都中央区、土川尚己代表理事)は、会員向けの顧客対応ツール「ねんきん定期便がよく分かるチェックシート」を開発した。同チェックシートは、ねんきん定期便を見ながら四つの質問に答えてもらうだけで、公的保険の保障額や受給額が算出できる。顧客の個々のリスクと公的保険との差額が可視化できることから、民間保険のニーズ喚起につなげることが可能だ。

対応ツールの開発要望も寄せられていたため、会員向けサービスとして同チェックシートを開発した。

50歳以上の人の場合、一つ目の質問で老齢年金と遺族年金の受給要件を明確にする。二つ目の質問では、老齢年金の受給開始年齢とそれ以降の1年間ごとの受取見込額を確認し、老後の最低日常生活費との差額を算出する。三つ目の質問では、ねんきん定期便から遺族年金を計算し、グラフ化する。

四つ目は全ての年齢の人に対する質問となっており、厚生年金保険の標準報酬月額とそれによって変わる高額療養費の自己負担額を見て、医療費が100万円掛かった場合の自己負担額を計算するとともに、標準報酬月額と働けなくなってしまうと傷病手当金が支給された場合の差額を明確にする。

同チェックシートは既に提供を開始しており、資格を取得した会員向けに100部単位(有料)で申し込みを受け付けている。また、活用方法は動画で配信している。今後は会員からの声や要望を反映して利便性向上に努めるとともに、活用方法のフォローアップ研修なども実施していく予定だ。

ねんきん定期便は、毎年一回、誕生月に国民年金および厚生年金保険の加入者(被保険者)に対して日本年金機構から届けられるもので、年金加入記録の確認や年金制度への理解を深めてもらうことを目的としている。しかし、ねんきん定期便

知識と公的保険を踏まえ、民間保険の営業ノウハウの習得などを目的に公

同チェックシートは、ねんきん定期便が50歳以上と50歳未満の人で記載内容が異なることを踏まえ、左側に50歳以上、右側に50歳未満の人のため

こうして顧客の個々のリスクと公的保険との差額を明らかに

同チェックシートは既に提供を開始しており、資格を取得した会員向けに100部単位(有料)で申し込みを受け付けている。また、活用方法は動画で配信している。

四つの質問で保障額や受給額算出

原因で、見方が分からないという悩みを持つ人は少なくない。そのため同協会では、公的保険に関する正しい

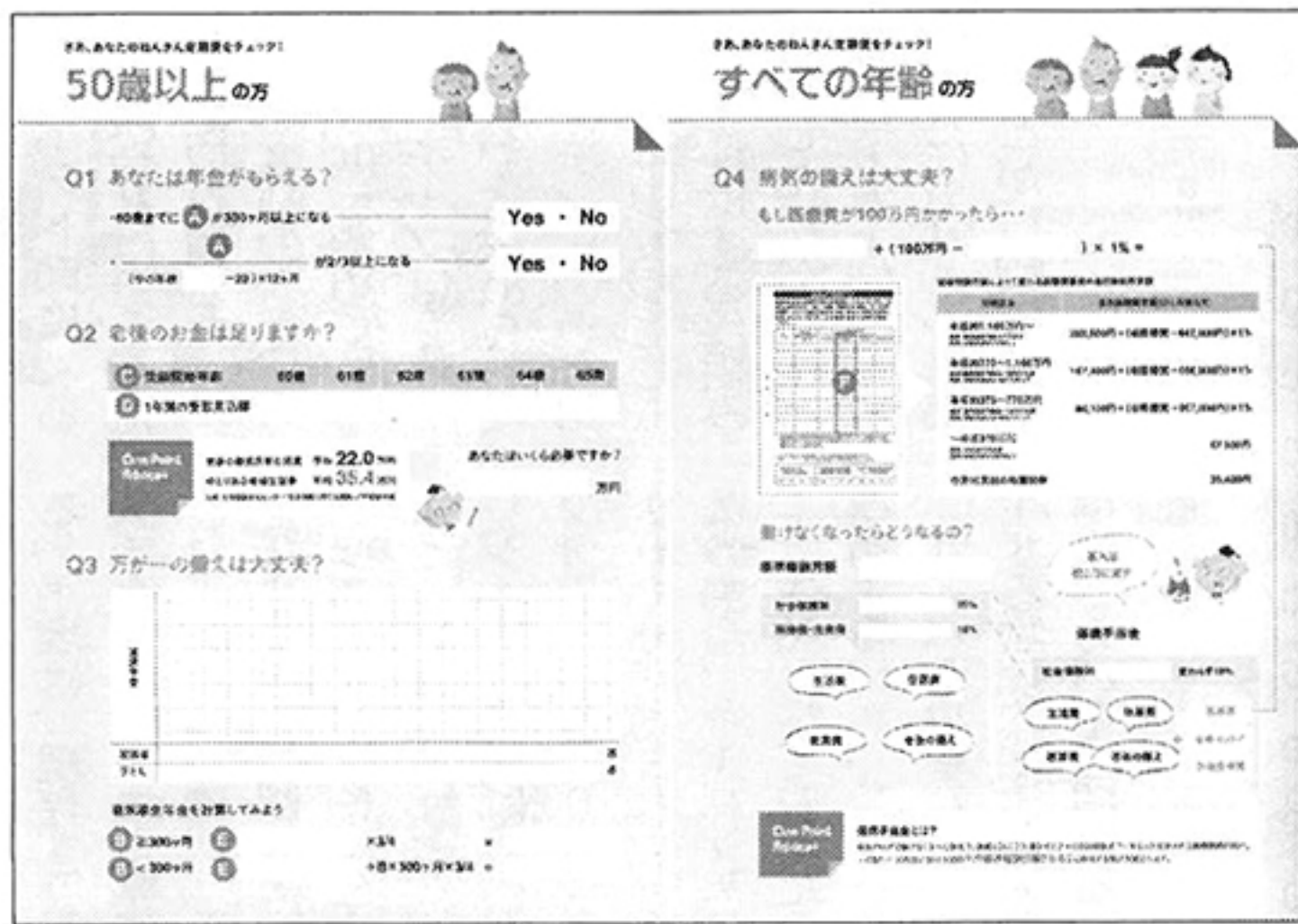
的保険アドバイザーの資格普及に努めている。資格取得者である会員向けには、公的保険に関するコラムのメール配信やフォローセミナーの実施などを行っているが、顧客

の記入シートを用意している。また、真中には記載する内容を分かりやすく解説したねんきん定期便のサンプルが載っている。

関する質問になっている。自営業者、会社員といった働く形態で受取見込額が大きく変わることから、国民年金と厚生年金の計算式とねんきん定期便に記載されているこ

をカバーする民間保険の提案につなげることができ

土川代表理事は「保険募集人は契約内容の確認・更新手続きなどで顧客を訪問するが、公的保



ねんきん定期便がよく分かるチェックシート